

ジャパンビーチバレーボールツアー2020<BVT2>サテライト競技規程

2020. 4. 1

(一社)日本ビーチバレーボール連盟
BVTサテライト実行委員会

1 エントリー

(1) エントリー

全ての大会に参加を希望する全てのチームは必ず所定のエントリー手続きを済ませなければならない。

1) エントリー資格

- ◆参加を希望する日本人選手は一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟(以下、「日本ビーチバレーボール連盟」という。)選手登録を行っていないと認められず、設定された締切り日までにエントリーをしなければならない。ここで言う登録とは登録費の支払い手続きを完了したものである。
- ◆参加するには日本ビーチバレーボール連盟選手登録のA登録又はS登録を行っていないと認められない。エントリーの時点では未登録も認めるが、大会参加が決定した場合、大会12日前までに登録を完了していないと認められない。大会開催日の時点で未登録の選手は大会の参加を認めない。
- ◆外国人選手は日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行うか、その資格を有さない場合は所属する国のバレーボール協会からの参加申請に基づき、参加を認めることがある。
- ◆日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行っていない外国人選手が一人以上含まれるチームは規定範囲での参加を認める。

2) エントリー期限

大会ごとのエントリー期限は原則24日前を目途に設定し、期限日の23時59分までを期限とする。

3) レイトエントリー

エントリー期限を過ぎてからのエントリーは原則受け付けない。ただし、募集定数に達しない場合のみ、追加エントリーを受け付けする場合もある。

4) 監督、コーチ、トレーナー申請

ジャパンビーチバレーボールツアー<BVT2>サテライト(以下、「BVT サテライト」という。)では、参加チームの監督、コーチ、トレーナーをチームスタッフとしてAD申請のうえ会場内に入ることを認める。チームスタッフの申請は、大会エントリーと同時にエントリー期限内に行う。

なお、各チーム2名以内とする。

5) 参加料

BVTサテライトの大会参加費は5千円/1人とする。

なお、減額等の処置をすることができる。

(2) 参加チームの決定

BVTサテライトの参加チームは以下の通り決定する。

1) 大会参加チームの決定

◆BVTサテライトの参加チームはエントリー期限時点でのJVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント(以下、「JVAポイント」)にて参加チームを決定する。

◆JVAポイントが同じ場合は、最も高いポイントを持つ選手がいるチームを上位とする。

◆レイトエントリーチーム(募集した場合に限る。)

レイトエントリーチームはその大会が参加定員に満たない場合のみ参加することができる。

2) 補欠チーム

BVTサテライトへのエントリーチームが大会参加定員よりも多い場合、エントリー期限日時点でのJVAポイントで参加定員以降のチームとレイトエントリーチームは補欠チームとなる。それら補欠チームは以下のように取り扱う。

◆正規(エントリー期限内)にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる繰り上げはエントリー期限時点のJVAポイントによって行われる。

◆レイトエントリーチーム(募集した場合に限る)

他チームのキャンセルによる繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。レイトエントリーチーム同士は申込み順で繰り上げを行うものとする。

3) 参加チームのポイント制限

BVTサテライトでは、参加チームの合計ポイントを制限する場合がある。

制限するポイント及びポイント基準日は各大会要項に募集開始時点で記載する。

(3) ワイルドカード

BVTサテライトには大会主催者が定めるワイルドカードが参加することがある。ワイルドカードによる参加チーム数の上限は2チームとする。

1) ワイルドカードの対象

ワイルドカードは正しくエントリーを行ったチームを対象とし、所定のシードが与えられる。

◆ワイルドカードは、JBVワイルドカード、開催地ワイルドカードから選ばれる。

◆ワイルドカードは申請権を持つ組織が大会実行委員会に対し申請を行う。

◆ワイルドカード申請は、締切日までに行わなければならない。

2) ワイルドカードの推薦権

ワイルドカードの推薦は、以下の推薦団体が大会実行委員会に推薦を行う。選手本人からの推薦書提出は対象外とする。

◆公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール強化委員会

◆一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟

◆開催地都道府県バレーボール協会又は開催地都道府県ビーチバレーボール連盟

◆その他、大会実行委員会が認めた団体及びチーム

3) ワイルドカードの決定権

ワイルドカードは大会実行委員会が決定する。

4) 外国人チームの**出場取扱**

正規のルートにより推薦された外国人チームは、強化の目的からワイルドカードに含めないことができる。
出場の決定は、大会実行委員会で行う。

(4) キャンセル

各大会にエントリーを済ませたチームがそれを取りやめる場合は必ずキャンセルの手続きを行わなければならない。

1) 参加チームのキャンセル

参加チームがキャンセルする場合は大会実行委員会に連絡し確認を受けた時点でキャンセルが認められる。

2) 大会12日前以降のキャンセル

大会12日前以降に参加チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

◆怪我等の場合は診断書、その他の理由の場合は文書にて申請し、大会実行委員会の承認を得なければならない。

◆BVTサテライトにおける診断書の提出を必要とするキャンセルについて、診断書の提出がないチームは、罰則として以後の日本ビーチバレーボール連盟主催大会への参加を認めない。~~場合がある。~~

◆BVTサテライトにおいてプレミナリインクワイアリに來なかつたチーム、すなわち主催者に無断でキャンセルを行ったチームは、別に定める罰則が適用される。

◆診断書の提出を必要とするキャンセルにおいて、診断書がない場合でも大会実行委員会がやむを得ないと認めた場合に限り、罰則が適用されないことがある。

◆FIVB、AVC主催大会又は**BVTサテライト実行委員会**が認める大会への参加又は参加するための移動等によるキャンセルは罰則の適用外とする。

(5) 選手変更

エントリー期限後でも大会実行委員会が認めれば、ルールに定められた範囲に限りチームでどちらか一方の選手を変更することが出来る。

◆変更によってチームに加入する選手はすでにBVTサテライト参加に必要な日本ビーチバレーボール連盟選手登録を済ませていなければならない。

◆JVAポイントは変更後の選手のものを採用する。選手変更によるJVAポイントの増減に伴いエントリーリストを変更する。すなわち参加確定チームが補欠チームに繰り下がることもある。

◆選手変更時点でエントリーリストが発表され、すでに参加チームが決定している場合、JVAポイントが上がることによって補欠チームが参加確定チームに繰り上がることはない。

◆補欠チームが選手変更によりJVAポイントが増えた場合、補欠チーム内での順位が変更されるが、参加確定チームに繰り上がることはない。(補欠チームが繰り上がるには、参加確定チームのキャンセルもしくは選手変更が行われた場合に限る)。

1) 選手変更期限

大会12日前以降の選手変更は認めない。ただし、大会実行委員会がやむを得ないと判断した場合にはこの限りでは無い。

2) ワイルドカードの選手変更

ワイルドカードは**いかなる時点でも**大会実行委員会が認めた場合に限り、ワイルドカードのままどちらか一方の選手を変更することが出来る。

2 シーディング

(1)シーディング

シーディングは大会12日前のJVAポイントに基づき、プレミナリイックワイアリの時点で確定する。JVAポイントが同じ場合は最も高いポイントを持つ選手がいるチームを上位とする。それも同じ場合は大会実行委員会による厳正な抽選によりシーディングを決定する。

1) ワイルドカード

ワイルドカードには大会ごとに定められた規定のシードが与えられる。

ワイルドカードのシーディングは、上記シードと自らのJVAポイントにより与えられるシードのうち、より上位となるシードを適用する。

2) 選手の変更

選手を変更したチームのJVAポイントは変更後の選手のものを採用する。

(2)プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティング

プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングは、原則大会当日に大会事務局の定める時間、場所で大会主催者代表の出席のもと開催される。プレミナリイックワイアリの時間、場所については、大会ごとに事前に参加選手に通知される。

大会エントリーチームはプレミナリイックワイアリとテクニカルミーティングに参加した時点で大会参加チームと認められる。プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングには原則選手2人が参加しなければならない。やむを得ない理由によりプレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングに参加できないチームはプレミナリイックワイアリ終了時間までに大会事務局に連絡しなければならない。

プレミナリイックワイアリ終了時点でプレミナリイックワイアリの会場にいないチーム、連絡のないチームは無断でのキャンセルとみなし、当該大会への参加を認めない。また、罰則として以後のJVA主催大会への参加を認めない場合がある。なお、プレミナリイックワイアリ、テクニカルミーティングを実施しない場合は事前に通知する。

(3) 競技形式

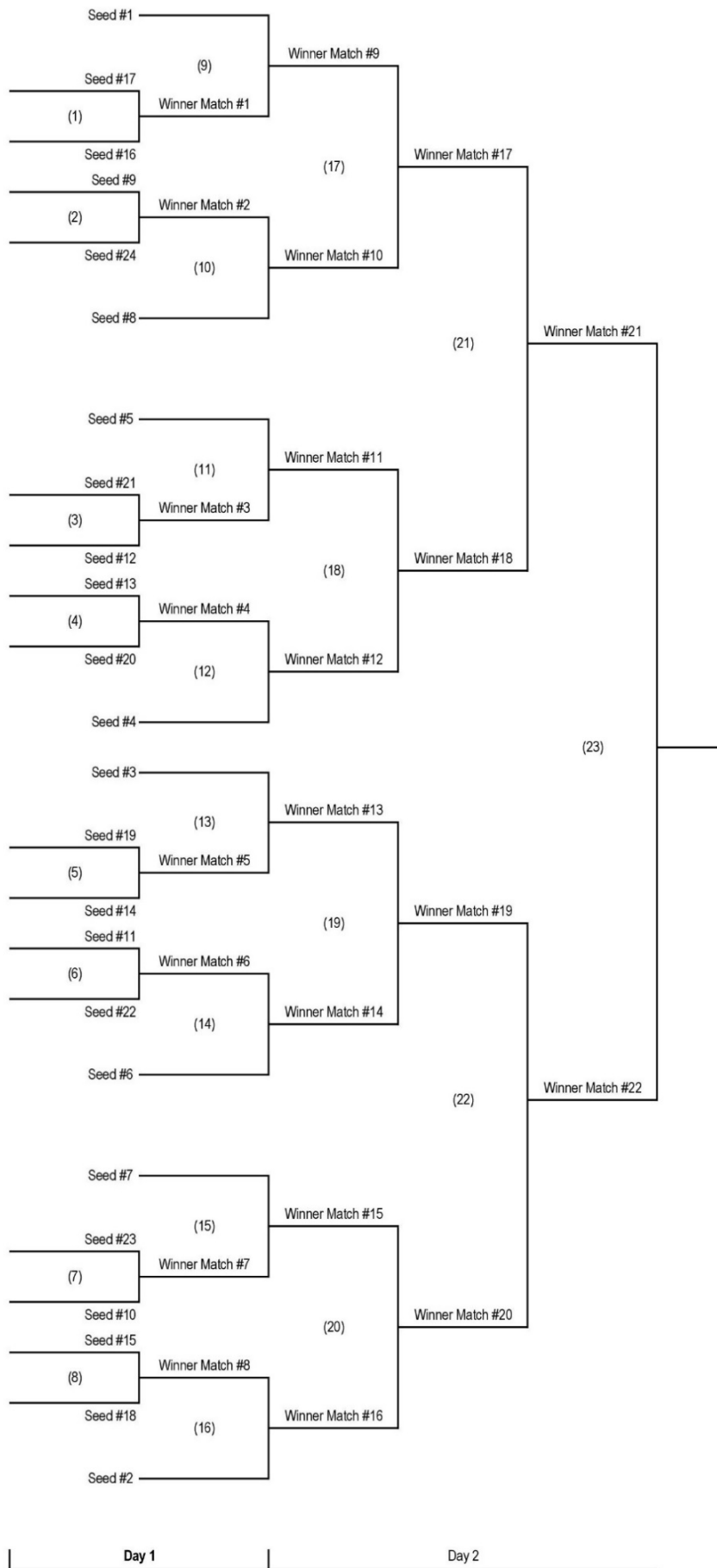
BVTサテライトは男女各24チームが参加して以下のように行われる。

なお、エントリーで、どちらか一方が24チームを超え、どちらか一方が24チームに満たない場合、男女合わせて48チーム以内で参加チーム数を調整する場合がある。ただし、男女別の最大数32チームとする。

◆コート面数により、チーム数の調整をすることができる。但し、男女各12チーム以上とする。

◆24チームによるシングルトーナメント方式

シングルエリミネーショントーナメント方式で行う。トーナメント内容は下記に表示するとおりとする。



3 その他重要事項

(1) 競技全般

1) 男女共催

BVTサテライトは男女共催で行われる。

~~やむを得ない事情が発生した場合に限り、男女別開催で行われる場合がある。~~

2) 試合形式

BVTサテライトは全ての試合が3セットマッチで行われる。ただし天候状況等によりキャップが設けられることがある。

3) 形式の変更

事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り、大会実行委員会はトーナメント方式及び試合形式を変更することがある。

(2) ユニフォーム

BVTサテライトは日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定を遵守して行われる。大会参加チームは原則日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定に適合したユニフォームを自分たちで用意しなければならない。ユニフォームのルールに関して詳細な基準は大会競技委員長の判断によって行われる。

◆ユニフォームチェックはマッチプロトコルに審判によって行われる。もしくはプレリミナリイックワイアリ時に大会事務局により行われることがある。

◆もしユニフォームチェック時にユニフォームに違反があると判断された場合、試合開始までに適正なユニフォームへの変更ができない場合は試合を没収される。

1) スポンサーロゴ

ユニフォームに露出するスポンサーマークやロゴの数及び位置、サイズについては日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定に定める範囲とする。胸番号、背番号の識別が可能なものであること。

※ただし露出が制限されるスポンサーもあり得る。

2) マニュファクチャーロゴ

ユニフォームのマニュファクチャーロゴは規程の範囲内とする。

※着用は認めるがマニュファクチャーロゴのマスキングを指示されることがある。

3) 大会主催者によるトップスの支給

大会主催者よりトップスの支給があった場合、大会参加選手は必ずそれを着用して試合しなければならない。トップス支給の有無は事前に大会実行委員会より告知される。

4) アンダーウェア等の着用

チームは必ず同型、同色のアンダーウェアを着用しなければならない。また、どちらか一方の選手だけが着用することは許されない。

(3) コーチング

BVTサテライトでは、監督が試合中にコーチングを行うことは出来ない。

(4) 大会の棄権

競技開始後の怪我等による棄権は、確定した順位に基づき賞金、ポイントを与える。

競技開始前の棄権の手続きは、1エントリー(4)キャンセルに規定する内容により処理する。

(5) ポイント

本大会に参加したチームには別途定められたJVAポイントが与えられる。

(6) 賞金

本大会に参加した選手には大会要項で定められた賞金が支払われる。

(7) 女子選手ユニフォームのオプション

本大会では、女子選手が着用するユニフォームのオプションとして、半袖、長袖、ショーツ、パンツ(ズボン)タイプの着用を定められたルールに沿った範囲で認める。

(8) 公式行事への参加について

大会に参加する全ての選手はプレリナリインクワイアリ、テクニカルミーティング、表彰式など、大会が指定する大会運営上必要な公式行事には必ず参加しなければならない。

参加しなかった選手については以下の罰則を適用する。

1) プレリナリインクワイアリ、テクニカルミーティング

- ・同大会のエントリーを抹消し同大会への参加を認めないものとする。

2) 表彰式

- ・同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
- ・大会実行委員会に対し始末書を提出する。
- ・以降3大会、指定する大会への出場を認めない。

3) 併催イベント、交流試合、スクール等

- ・大会実行委員会に対し理由書を提出する。

罰則については大会実行委員会がやむを得ない事情を認める場合はこの限りではない。

ただし、選手はやむを得ない事情が生じたと考えられる場合についても、それぞれ公式行事の開始前に大会実行委員会に事態を連絡しなければならない。

(9) コンプライアンス規定の遵守

大会関係者(選手を含む)は、スポーツパーソン、スポーツ関係者として品位と名誉を重んじつつ、フェアプレーの精神に基づいて他の範となるよう行動し、ビーチバレーボールの健全な普及・発展 に努めなければならない。

法令等違反行為に該当するもしくは、該当する恐れがあるものについては、日本バレーボール協会コンプライアンス規定に基づき対処する。

また、競技規則に定めるペナルティの対象となる行為に対しては、実行委員会で協議のうえ下記の罰則を適用する。

◆同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。

◆日本バレーボール協会及び日本ビーチバレーボール連盟主催大会への出場を認めない。期間、大会数は実行委員会で協議し決定する。

(10)メディカルインジュリータイムアウトに関する今後の対応

国際大会においては、シーズン中におけるメディカルインジュリータイムアウト(以下、「MTO」という。)の使用制限がある。現在の国内大会は、1試合1選手1回としている。

BVTサテライト実行委員会では、今後回数制限の運用を導入すべく、2019年度より、シーズン中の MTO 使用数を集計します。**※BVT2 サテライトでは2020年度の回数制限はなし**

対象の大会は、ジャパンビーチバレーボールツアー-BVT1及びBVT2(ただし、BVT1とBVT2の回数は合算しない)とする。

なお、医療スタッフを必要とする、出血を伴う負傷による MTO などの対応は、競技規則により対応する。

MTO を使用した選手は、試合終了後に専用様式を受け取り、記入・サインのうえ審判委員長に提出すること。

(11) その他

本規定は令和2年4月1日から実施する。

本規定の変更は日本ビーチバレーボール連盟及び大会実行委員会の協議によって行うことができる。

また、本規定に明示されていない不測事項はすべて日本ビーチバレーボール連盟ならびに大会実行委員会で決定する。

附則

平成30年5月1日

令和 2年4月1日